

令和8年3月25日

提 言 書
参 考 資 料

立憲民主党・かながわクラブ神奈川県議会議員団
文化スポーツ観光部会
松崎 淳、飯野 まさたけ

目 次

	ページ
1 グローバル観光トレンド	1
2 日本の状況	1
3 神奈川県観光の現状.....	4

1 グローバル観光トレンド

- ・ポストコロナで「体験消費」「サステナブルツーリズム」「デジタル化」が加速度的に拡大。
- ・ナイトタイムエコノミー市場が世界的に拡大。
- ・MICE市場は「ビジネス×観光」のハイブリッド需要が急増し、国内外の多くの都市が積極投資。

2 日本の状況

(1) 訪日外国人旅行者数

2025年は4,268万人であり、年間の合計として過去最高を記録した。

[参考] 国・地域別訪日外客数（2025年1月～12月）上位の国・地域

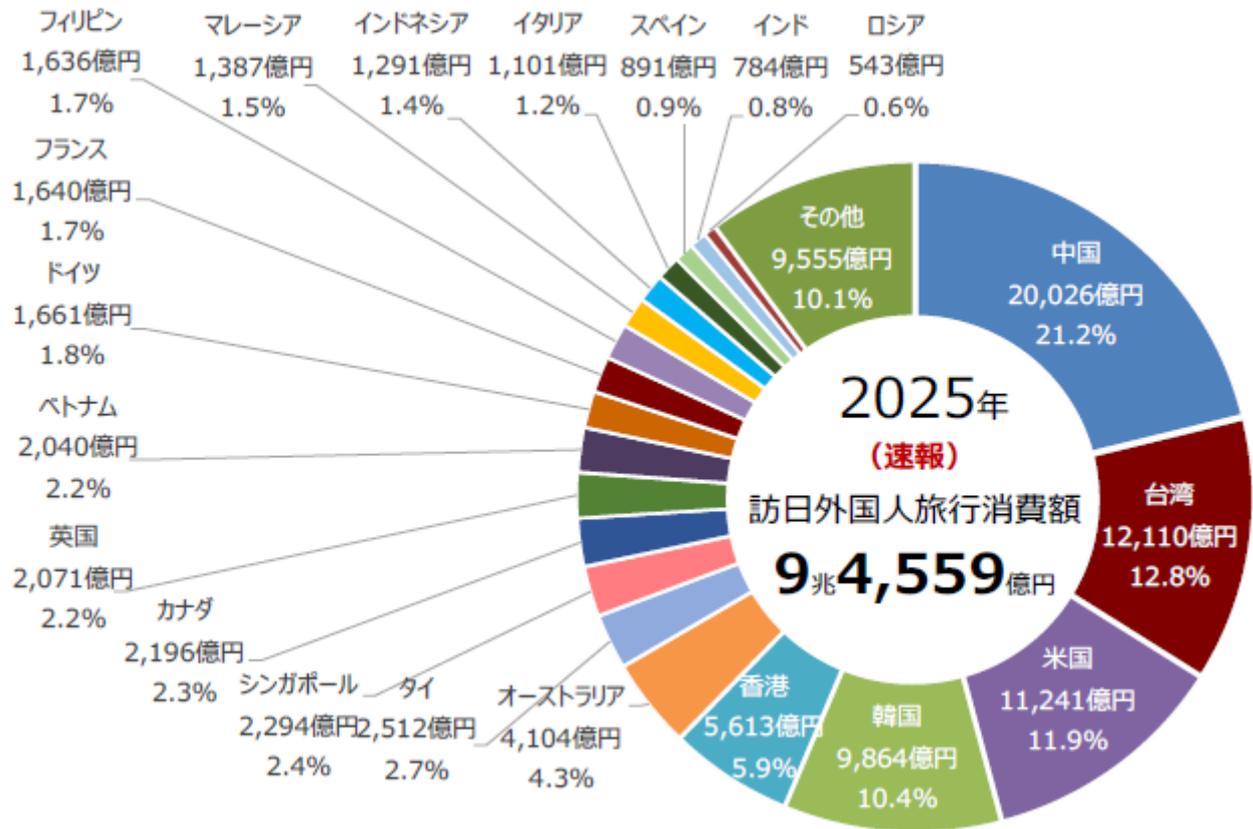
韓国	9,459,600人
中国	9,096,300人
台湾	6,763,400人
アメリカ	3,306,800人
香港	2,517,300人
総数	42,683,600人

出典：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客統計」

(2) 訪日外国人消費額の推移

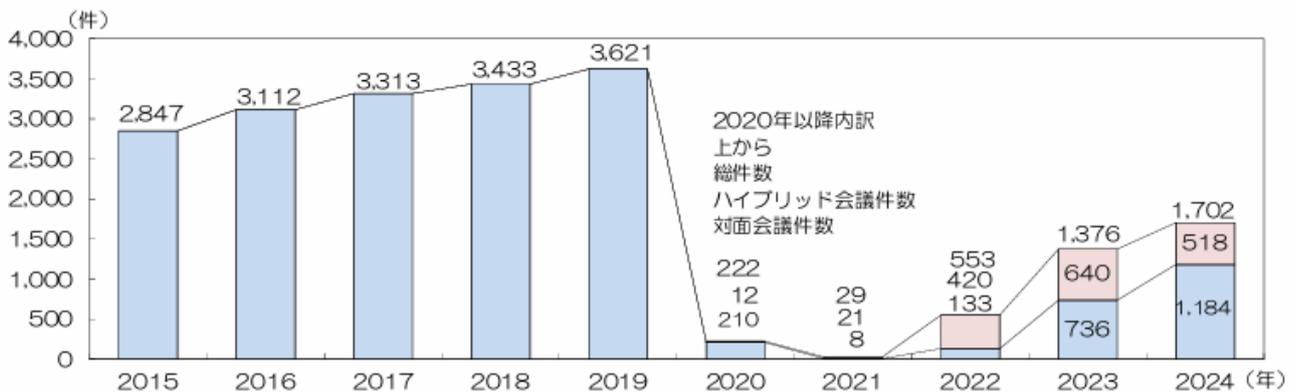
年	金額
2018年	4.5兆円
2019年	4.8兆円
2020年	0.7兆円（※）
2021年	0.1兆円（※）
2022年	0.9兆円（※）
2023年	5.3兆円
2024年	8.1兆円
2025年	9.4兆円

(3) 国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

エ 国際会議の開催件数及びハイブリッド会議件数 (2015~2024年)



出典：日本政府観光局 (J N T O)

「2024年国際会議統計 第1章 J N T O統計」

(4) 年別国際会議の参加者数 (2015年～2024年)

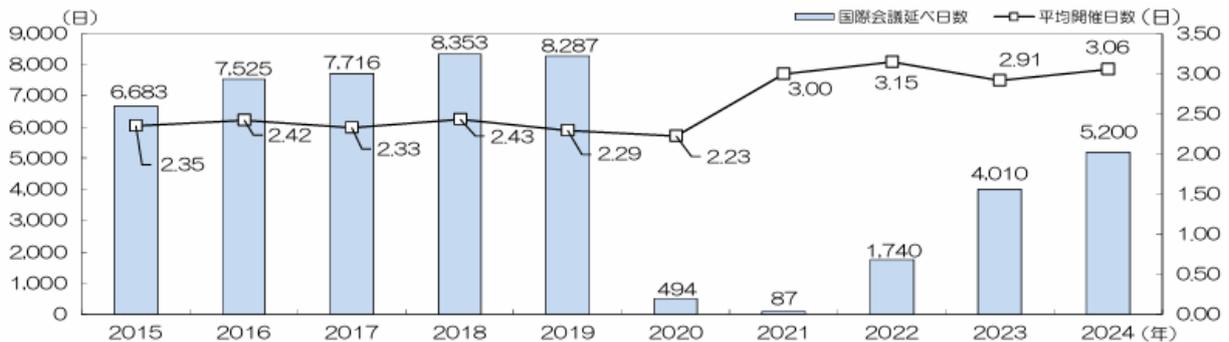


注:会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

出典:日本政府観光局(JNTO)

「2024年国際会議統計 第1章 JNTO統計」

カ 年別国際会議の開催延べ日数、平均開催日数 (2015年～2024年)



出典:日本政府観光局(JNTO)

「2024年国際会議統計 第1章 JNTO統計」

キ 都市別国際会議の開催状況（2019年、2022年～2024年）

〈2024年の外国人参加者数上位10都市を抜粋〉

開催都市	2019年		2022年		2023年		2024年		2024年 外国人参加比率 (%)
	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	
東京（23区）	42,398	308,276	8,174	62,196	34,235	158,567	51,724	190,869	27.1%
京都市	30,585	190,834	7,747	37,293	20,641	105,137	22,131	135,778	16.3%
横浜市	27,919	303,767	2,434	54,558	11,191	171,233	17,711	213,544	8.3%
福岡市	11,590	119,340	1,324	40,222	6,114	88,363	9,161	115,413	7.9%
大阪市	11,060	149,117	1,108	2,945	4,995	26,776	6,343	55,569	11.4%
神戸市	15,641	158,094	1,399	18,960	4,741	90,739	4,948	81,570	6.1%
札幌市	8,218	51,090	1,343	13,023	4,800	39,402	4,859	46,665	10.4%
名古屋市	9,646	192,416	999	10,544	4,625	47,588	4,657	56,633	8.2%
広島市	6,642	43,051	288	5,768	4,451	29,753	3,218	24,044	13.4%
仙台市	4,582	69,227	865	9,454	4,124	38,109	3,160	39,521	8.0%

出典：日本政府観光局（J N T O）

「2024年国際会議統計 第1章 J N T O統計」

3 神奈川県観光の現状

（1） 県の実績及び東京都等との比較

指標	2024年実績	比較
訪日外国人訪問者数	約324万人	東京1,834万人、大阪1,409万人と比べて少数
観光消費額 （1人当たり）	5.8万円	東京都15.6万円に対し低位
M I C E開催件数	110件	東京都371件と比べて不足

（2） 入込観光客の状況

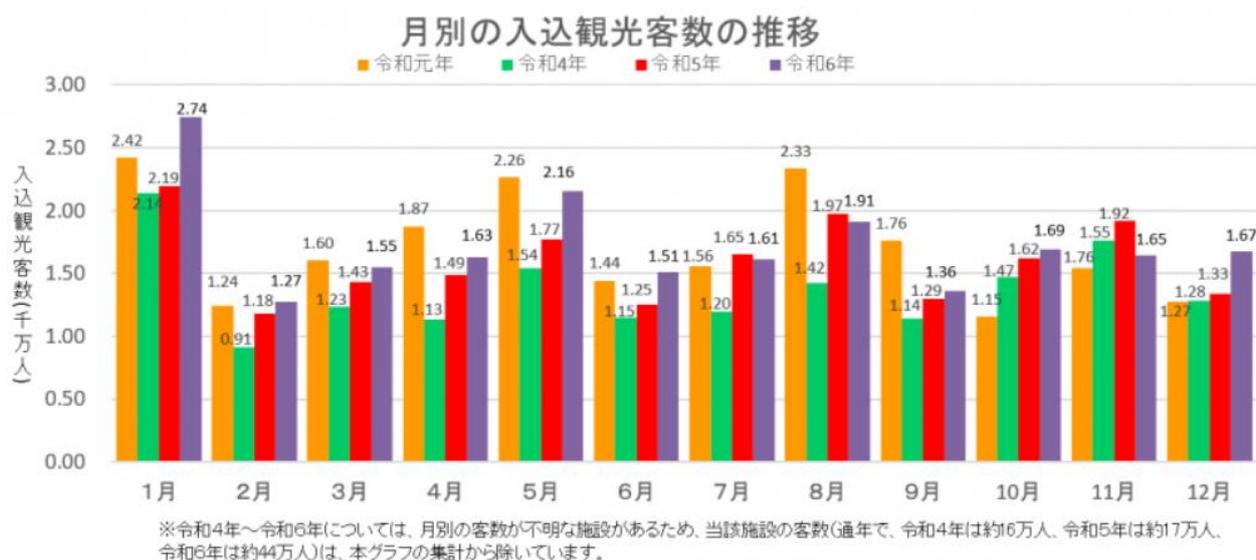
ア 延観光客数

令和6年中に神奈川県を訪れた観光客（入込観光客）の推計延人数（以下「延観光客数」という。）は2億806万人で、令和5年の延観光客数（1億9,111万人）に比べ1,694万人の増加（前年比+8.9%）となった。

延観光客数は、平成24年以降増加傾向にあり、平成29年に初めて2億人を突破したが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、前年の半分に近い1億849万人まで激減し、その後は感染症拡大

防止の行動制限が段階的に解除され、観光需要喚起策の実施や国の水際対策の緩和等もあって、延観光客数も徐々に回復していった。

令和6年は、コロナ後の回復基調が継続し、令和元年の2億467万人を339万人（+1.7%）超え、過去最高となった。



出典：神奈川県HP「令和6年入込観光客調査」

イ 日帰り客数

日帰り観光客の推計延人数（以下「日帰り客数」という。）は1億8,783万人で、延観光客数の90.3%を占めており、前年に比べ1,464万人の増加（前年比+8.5%）となった。

日帰り客数は、平成24年以降増加傾向にあり、令和元年に1億8,732万人に達したが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により9,794万人に激減した。

その後、令和3年以降は回復基調が続き、令和5年に1億7,320万人と令和元年比の9割の水準に到達し、令和6年には令和元年を超えて過去最高となった。

ウ 宿泊客数

宿泊観光客の延人数（以下「宿泊客数」という。）は、2023万人で、前年に比べ231万人の増加（前年比+12.9%）となった。

宿泊客数も、平成24年以降増加傾向にあり、平成30年に1,791万人となったが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により1,054万人に激減。

その後、令和3年以降は回復基調が続き、令和5年に1,792万人、令和6年に2023万人と2年連続で過去最高となった。

(3) 県内都市別 国際会議開催件数

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2024年外国人 参加者数(人)	2024年国内 参加者数(人)	2024年参加者 総数(人)
神奈川県	193	189	179	163	282	9	13	47	100	110	18,063	198,021	216,084
横浜市	190	188	176	156	277	9	13	44	98	103	17,711	195,833	213,544
川崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	40	15	55
横須賀市	2	0	2	1	1	0	0	0	0	1	15	1,820	1,835
厚木市	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鎌倉市	0	0	0	0	0	0	0	*1	1	0	0	0	0
小田原市	0	0	0	0	1	0	0	*2	0	0	0	0	0
平塚市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
葉山町	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	41	72	113
箱根町	1	0	1	4	3	0	0	*1	0	3	256	281	537

注1：1つの国際会議が複数の都市にまたがって開催された場合、開催件数は各都市で1件ずつ計上している。

注2：過去10年間で国際会議が開催されていない都市は一覧表への掲載をしていない。

注3：各都道府県の開催件数（網掛け部分）は、同一都道府県内で複数の都市にまたがって開催された会議がある場合に、当該会議を1件の会議としてまとめた上で計上している。そのため、各都市の開催件数を足し上げた合計値とはなっていない。また、参加者数（外国人参加者数、国内参加者数、参加者総数）は、各都市の開催件数に従って算出している。

注4：なお、同じ都道府県内の複数都市で開催された国際会議を含む数値には、*印を付けている。

出典：日本政府観光局（JNTO）

「2024年国際会議統計 資料編1 国内 都市別国際会議開催件数一覧表」